

ホッピーだより No. 297 平成21年8月1日 (2009/8

平成21年8月1日 (2009/8/1)

054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別80-6 0145-45-3141 アビナガリュウ むかわ町立穂別博物館 http://www10.plala.or.jp/mukawa/sos<u>hiki/hakubutsukan/</u>

穂別・三笠・沼田のモササウルス 公開中

モササウルス:白亜紀後期に出現し、世界中の海へと広がった海生爬虫類。大きな口と鋭い歯を持ち、当 時の海の食物連鎖の頂点に位置したが、白亜紀末期に絶滅。北海道では他に、日高町や平取町から発見。



各地のモササウルスを けべてみよう

穂別産モササウルス化石 (博物館展示室)

Mosasaurus hobetsuensis Suzuki, 1985

(モササウルス・ホベツエンシス)

産出地:むかわ町穂別富内 / 所蔵:穂別博物館

部位:歯、右前足、胴椎、肋骨など

※穂別の名前がついたモササウルス。モササウルス類で





三笠産モササウルス化石(レプリカ)

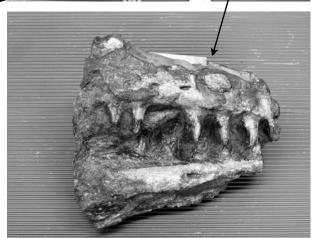
Taniwhasaurus mikasaensis

Caldwell, Konishi, Obata and Muramoto, 2008 (タニファサウルス・ミカサエンシス)

産出地:三笠市桂沢 / 所蔵:三笠市立博物館 部位:目のくぼみ〜あごの後側の部分

※昨年、ティロサウルス類の新種として発表され

た。別名「エゾミカサリュウ」。



沼田産モササウルス化石 (レプリカ)

Mosasauridae gen. et sp. indet

(モササウルス科 属・種 不明)

産出地:沼田町幌新 / 所蔵:沼田町教育委員会

部位: あごの中ほどの部分

※現在のところ、種類は不明。今後の研究が期待

される標本。

(学芸員 桜井)

穂別博物館 2009夏の特別展

「穂別海竜博物館 -穂別を泳いでいた海竜たち-」

~9/30(水) (8月は無休)

穂別博物館 特別展示室

展示協力 三笠市立博物館・沼田町教育委員会

普及講演会「中生代の海生爬虫類 -恐竜時代の海の生き物-」 8/22(土) 13:30-16:00 むかわ町穂別町民センター (申込不要)

平山 廉(早稲田大学教授)・櫻井和彦(穂別博物館学芸員)・西村智弘(穂別博物館普及員) 後援むかわ町立穂別博物館協力会

レプリカ アクセサリーづくり はじめました

5月から週末と連休に開催している大好評の化石体験コーナーに、新たにレプリカ アクセサリーづくりが加わりました。お湯で柔らかくなるカラフルなプラスチックを使って、アンモナイトのレプリカ アクセサリーを作れます。お作り頂けるのは、アンモナイト ストラップかアンモナイト サンダルアクセサリーです。料金は無料です(博物館入館料のみ)。サンダル

アクセサリーは、当日サン ダルをお持ちいただかなく ても、お作りできます。

なお、クロックス(風) のサンダルはエスカレー ターに挟まれやすいのでお 気をつけください。

(普及員 西村)



アンモナイト ストラップ



アンモナイト サンダルアクセサリー

化石体験で自由研究!

8/3 (月) $\sim 8/5$ (水) は化石体験が盛りだくさん!

「学芸員質問コーナー」10:00~15:00、化石のこと、地層のこと、分からないことは全部学芸員に質問しよう。プライベートなこと以外は何でも答えます。

その他にも、クリーニングした化石を持って帰れる「化石クリーニング体験」10:00~15:00、 ノジュールを割って化石を探す「石割り化石探し」15:30~16:00も開催します。「石割り化石探 し」は年に数回しか開催されません。この機会にぜひどうぞ。

また、8/8 (土) には穂別キャンプ場で $10:00\sim15:00$ にレプリカづくりとレプリカ アクセサリーづくりを開催します。

化石体験コーナー (8月の予定)

化石クリーニング体験: 土曜日(8/1・8・15・22・29)・8/3(月)~8/5(水)、10:00~15:00 (石の中から化石を取り出す: お一人様15分)

レプリカづくり:日曜日(8/2・9・16・23・30)、10:00~15:00

(アンモナイトの石こう模型づくり:作業10分、石こうが固まるまで20分)

レプリカ アクセサリーづくり:日曜日(8/2・9・16・23・30)、13:00~15:00 (アンモナイトのプラスチック模型でのアクセサリーづくり:作成10分)



むかわの化石や生き物<穂別のアンモナイト> Tetragonites popetensis

テトラゴナイテス ポペテンシス

名前の通り殻が四角いアンモナイト(tetra-、4の意味)。約10cmほどまで成長する。白亜紀サントニアン期からカンパニアン期(約8500-7000万年前)に生息。北海道各地とカリフォルニアから産出する。穂別北部のサヌシュベ川で発見された標本をもとに、1903年に新種であることが公表された。 (普及員 西村)

モササウルスの他にも、クビナガリュウや魚竜など、海生爬虫類には色々な種類がいました。しかしその中でもモササウルスは、世界中の海へと広がり、様々な食性や環境へと進出したことから、最も成功を収めたグループと言われています。(さ)